

報告第4号

令和5年度公益財団法人北播磨地場産業開発機構事業計画及び予算の報告について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により、令和5年度公益財団法人北播磨地場産業開発機構事業計画及び予算を別紙のとおり報告する。

令和5年5月30日

西脇市長 片山 象三

令和5年度事業計画書及び収支予算書

公益財団法人北播磨地場産業開発機構

令和 5 年度 事業計画書

(令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで)

我が国の経済は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつある中緩やかな持ち直しが続いている。その一方で、原材料費や食料価格の高騰、長引くロシア・ウクライナ情勢等による世界的な景気後退懸念など、我が国を取り巻く環境は厳しさが増している。更に、燃料価格の高騰による電気料金の値上がりなど物価高は歯止めがきかない状況にあり、経済の見通しは不透明な状況となっている。

「播州織」については、長引くコロナ禍の影響で拡大した EC 市場で独自開発の最終製品や生地の提案を続けながら、本格的に復活した国内外の展示会への出展や個社での展示会開催など販路開拓や情報発信に取り組んでいる。しかし、原糸、染料、薬品等の原材料費や燃料価格の高騰に加え、物価高騰により利益率が下がる厳しい状況になっており、先行きは不透明である。

「播州釣針」については、コロナ禍でも楽しむことのできる娯楽として好調に推移していた一方、旅行等他の娯楽が回復してきたこともあり、今後は維持することが難しいと言われている。また、釣り人口の増加によりマナーの低下が顕著に現れ、釣り場の減少問題へと発展している。更に、原油・原材料費の高騰のために生じた在庫不足による欠品や納期遅延等が影響し、業況はマイナスに転じている。

「播州織」と「播州釣針」の業界においては、地域ブランドである「播州織」及び「播州毛鉤」の発信に努めるとともに、新商品の開発、各種展示会への出展などの事業に取り組み、地場産品の PR、販路拡大や産地生産体制の維持に努めているところである。特に SDGs (持続可能な開発目標) の達成に向け、地場産業においてもサステナビリティ (持続可能性) の意識を醸成する (地場産業のブランド価値を高める) 事業に取り組んでいくことが必須になってきている。

当財団では、引き続き地場産業振興のための適切な育成支援事業を展開していくため、兵庫県及び地域行政の支援を得ながら、関係業界と連携してより効果的な事業の推進を図る計画である。

本年度の具体的な事業内容は、次のとおりである。

記

〔公益目的事業〕

北播磨地域の地場産業の普及振興事業及び人材育成事業

- 1 新製品・新技術及びデザインの研究開発事業 (定款第 4 条第 1 号)

(1) 播州織ブランド新商品試作開発事業

ア 事業内容

地域ブランド「播州織」を市場に発信し、最新の先染織物播州織を提案するため、伝統の織技術と最新の加工技術を駆使して新商品の試作開発を行う。

イ 実施方法

新商品試作開発委員会を組織し、染・織・加工の技術を駆使した先染めテキスタイルの試作開発を行い、展示会で提案して「播州織」ブランドの良さをPRする。

2 地場産業製品の普及事業（定款第4条第2号）

(1) 播州織総合素材展事業

ア 事業内容

総合素材展は、過去7年にわたり東京で開催してきたが、2025大阪・関西万博を見据え、地場産業を伝えつなげることができる機会ととらえて、西脇市で開催する。出展各社の展示による播州織産地のPRと高品質先染織物「播州織ブランド」を発信して新規顧客の開拓など販路開拓に努める。

また、播州織製造工程の工場見学ツアー及び生地や最終製品の販売等を実施し、産地に顧客を呼び込み播州織産地の活性化を図る。

イ 実施方法

播州織業界及び地域行政で実行委員会を構成し、事業の企画と実施に当たり、より効果的な事業の推進を図る。

ウ 実施時期・場所

時 期 令和5年11月

場 所 西脇市（西脇ロイヤルホテル）

(2) 播州織ブランド普及振興事業

ア 事業内容

播州織の認知度向上とイメージアップを図るため、「播州織」を使用した魅力ある製品づくりを行い、播州織ブランドをPRする。

イ 実施方法

播州織ブランド普及振興事業実行委員会（地域行政、業界）を組織し、事業内容の企画検討を行う。

(ア) 播州織コレクション事業

デザイナーと産地が連携して製品の試作開発を行い、ファッションショーをオンデマンドにより配信し、播州織ブラン

ドと播州織産地のPRを図る。

ショー開催予定 令和6年2月

(イ) ブランド発信PR事業

ホームページ等による発信を行う。

(ウ) ひょうごじばさんフェア事業

西日本最大級の産業総合展示会「国際フロンティア産業メッセ2023」内の特設ブース「ひょうごじばさんフェア2023」に出展し、播州織産地のPRと高品質先染織物「播州織ブランド」を発信することで、産地ブランドの認知度向上と販路開拓を図る。

実施時期・場所

時期 令和5年9月

場所 神戸市中央区（ポートアイランド内）

(3) SDGs推進事業

ア 事業内容

持続可能な播州織産地の維持・確保と播州織の魅力向上に向けて、SDGsの理念を踏まえた取組を推進する。

(ア) 播州織の製織段階で生じる残糸等を利用したテキスタイルの試作開発及び播州織製品の製作

(イ) 播州織産地のSDGsに関する取組の動画制作及びPR等

イ 実施方法

(ア) 播州織SDGs推進事業研究会を組織し、播州織の残糸等を利用したテキスタイルを試作開発するとともに、出来上がった生地を使用した播州織製品を製作し、展示会等で展示する。

また、出来上がった播州織製品を配布し、SDGsの取組をPRするとともに播州織の普及に努める。

(イ) 播州織産地のSDGsに関する取組の動画を制作し、オンデマンド等により配信し、播州織産地のイメージの向上を図る。

(4) 播州織相談員事業

ア 事業内容

播州織に関する相談員を設置し、西脇市内の播州織の企業等の競争力強化及び播州織の振興を図る。

(ア) 播州織競争力の強化に関すること。

(イ) 播州織ファッションショーに関すること。

(ウ) 播州織のPRに関すること。

(エ) 播州織の振興に関すること。

(5) 播州釣針地場産業展出展事業

ア 事業内容

播州釣針及び地域ブランド「播州毛鉤」の普及・PRのため、各種展示会に積極的に出展を行い、市場関係者及び消費者にPRして播州釣針産業への関心を高めるとともに、需要拡大の機会を創出する。

(ア) 播州釣針及び釣針製品の展示

(イ) 毛鉤製作の実演

イ 実施方法

釣針業界で実行委員会を組織して事業の企画を行う。毛鉤製作の実演については、播州毛鉤伝統工芸士を中心に行い、播州釣針及び釣針製品の展示も併せて行う。

ウ 実施時期・場所

(ア) にしわき産業フェスタ

時期 令和5年11月

場所 西脇市

(イ) 伝統工芸ふれあい広場

時期 令和5年11月

場所 岡山県岡山市

(ウ) 釣りフェスティバル2024・横浜

時期 令和6年1月

場所 横浜市

(6) 播州釣針普及事業

ア 事業内容

播州釣針のPRと消費者ニーズを把握するとともに、釣り人口を拡大して播州釣針の販売促進を図るため、主として家族及び子どもを対象とした釣り大会を実施する。

また、資源保護のため稚魚の放流も行う。

イ 実施時期・場所

(ア) 稚魚の放流事業

時期 令和5年6月

場所 明石市ほか

(イ) 鮎の毛鉤釣り大会

時期 令和5年6月

場所 神奈川県 相模川

(ウ) ファミリー海釣り教室

時 期 令和 5 年 9 月

場 所 神戸市

3 地場産業の経営者、技術者等の研修事業（定款第 4 条第 4 号）

(1) 人材育成事業

ア 人材育成研修事業

(ア) 事業内容

産地の魅力を高めるための商品開発力、各分野の専門知識の習得やブランド P R 戦略等のセミナー又は講習会を実施する。

(イ) 実施方法

産業界関係者を対象に、商品企画・開発、ブランド P R 戦略、I T 活用、技術継承等のセミナー又は講演会を年間数回実施する。

〔収益等事業〕

その他の事業

1 地場産業振興のための情報の収集提供に関する事業（定款第 4 条第 3 号）

(1) 播州織情報収集事業

ア 事業内容

播州織の生産状況、出荷状況などを迅速に把握し、かつ、産地内外へ提供することで、情報の共有化と生産の効率化を図る。

イ 実施方法

各関係機関でまとめたデータ等を定期的に収集し、産地内外に提供する。

提携先 一般財団法人メンケン品質検査協会、業界団体

2 地場産業振興のための調査事業（定款第 4 条第 5 号）

(1) 戦略推進事業

ア 事業内容

地場産業である播州織を守るため、平成 28 年 3 月に播州織ビジョン委員会より報告された「播州織への提言」の内容について、実行状況を見守る。

また、他産地との交流事業を実施し、他産地の状況を調査する。

イ 実施方法

(ア) 「播州織への提言」実現に向けての状況を見守りつつ、播州織産地の現状を的確に把握し、産地課題の解決と将来像に

向けての研究を行う。

- (イ) 産地間交流事業については、交流先を調査し、産地業界から希望者を募集し実施する。

3 縫製品PR事業（定款第4条第2号）

(1) 縫製品PR事業

ア 事業内容

にしわき産業フェスタで縫製品の展示を行い、関係者及び消費者にPRして需要拡大の機会を創出するとともに「播州織ブランド」の発信を図る。

イ 実施時期・場所

時 期 令和5年11月

場 所 西脇市

収支予算書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	3,721	3,354	367
基本財産利息収入	3,721	3,354	367
受取補助金等	16,920	13,920	3,000
地場産業ブランド力強化促進事業補助金	2,900	2,900	0
地場産業SDGs推進事業補助金	3,000	0	3,000
地場産業等活性化支援事業補助金	500	500	0
団体補助金	140	140	0
地方公共団体補助金	10,380	10,380	0
受取負担金	4,990	7,897	△ 2,907
分担金収入	4,990	7,897	△ 2,907
雑収益	39	39	0
受取利息	38	38	0
雑収入	1	1	0
経常収益計	25,670	25,210	460
(2) 経常費用			
事業費	17,334	15,071	2,263
報償費	1,000	1,000	0
旅費	985	1,165	△ 180
会議費	14	35	△ 21
通信運搬費	88	112	△ 24
印刷製本費	155	155	0
消耗品費	142	155	△ 13
賃借料	389	356	33
外注加工費	264	264	0
役務費	264	264	0
原材料費	328	388	△ 60
負担金支出	37	37	0
雑費	1	8	△ 7
支払手数料	7	8	△ 1
繰入金支出	13,660	11,124	2,536
管理費	10,064	10,139	△ 75
給料手当	6,210	6,210	0
福利厚生費	1,220	1,200	20
通勤費	138	138	0
会議費	16	10	6
旅費	100	100	0
通信運搬費	100	100	0
消耗品費	180	180	0
印刷製本費	20	40	△ 20
賃借料	1,300	1,281	19
共益費	310	310	0
諸謝金	200	300	△ 100
負担金支出	170	170	0
雑費	100	100	0
経常費用計	27,398	25,210	2,188
当期経常増減額	△ 1,728	0	△ 1,728

収支予算書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,728	0	△ 1,728
一般正味財産期首残高	236,557	235,491	1,066
一般正味財産期末残高	234,829	235,491	△ 662
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	234,829	235,491	△ 662

令和5年度業界別事業予算説明

(単位：千円)

業 界 名	事 業 名	予 算 額	備 考
播州織業界	播州織ブランド新商品試作開発事業	826	
	播州織総合素材展事業	5,155	
	播州織ブランド普及振興事業	3,820	
	SDGs推進事業	3,344	
	播州織相談員事業	1,000	
	播州織情報収集事業	726	
	戦略推進事業	61	
	小 計	14,932	
釣針業界	播州釣針地場産業展出展事業	675	
	播州釣針普及事業	1,124	
	小 計	1,799	
縫製関係	縫製品PR事業	25	
	小 計	25	
共通事業	人材育成事業	578	
	小 計	578	
合 計		17,334	

令和5年度事業別予算説明

(単位：千円)

区 分	事業名	科 目	予算額	備 考	
(公1) 北播磨地域の 地場産業の普及 振興事業及び 人材育成事業	新製品・新技術及びデザインの研究開発事業	播州織ブランド新商品試作開発事業	繰入金支出	826	特別会計へ
			合 計	826	
	播州織総合素材展事業		繰入金支出	5,155	特別会計へ
			合 計	5,155	
	播州織ブランド普及振興事業		旅 費	50	職員・委員旅費
			会 議 費	3	委員会賄費
			通信運搬費	1	郵送料
			消耗品費	2	事務用品他
			支払手数料	1	振込手数料
			繰入金支出	3,763	特別会計へ
			合 計	3,820	
	SDGs推進事業		繰入金支出	3,344	特別会計へ
			合 計	3,344	
	播州織相談員事業		報 償 費	1,000	
			合 計	1,000	
	播州釣針地場産業展 展事業		旅 費	515	委員旅費
			賃 借 料	84	出展料
			原 材 料 費	75	放流費
			支払手数料	1	振込手数料
			合 計	675	
播州釣針普及事業		旅 費	370	実行委員旅費	
		消耗品費	17	横断幕、ゼッケン他	
		印刷製本費	155	案内状、ポスター	
		賃 借 料	290	釣大会バス代、仮設トイレ他	
		原 材 料 費	253	放流費	
		負担金支出	37	入漁料	
		支払手数料	2	振込手数料	
合 計	1,124				
地場産業の経営者、技術者等の研修事業	人材育成事業	会 議 費	6	会議賄費	
		繰入金支出	572	特別会計へ	
		合 計	578		
その 他の 事業	(他1) 地場産業振興のための情報の収集提供に関する事業	播州織情報収集事業	通信運搬費	85	電話回線使用料、郵送料
			消耗品費	111	専門紙、事務用品他
			外 注 費	264	ホームページ管理・更新料
			役 務 費	264	調査資料費
			支払手数料	2	振込手数料
			合 計	726	
	(他2) 地場産業振興のための調査事業	戦略推進事業	旅 費	50	職員旅費他
			会 議 費	5	会議賄費
			通信運搬費	2	郵送料
			消耗品費	2	事務用品他
			雑 費	1	視察土産物代
	支払手数料	1	振込手数料		
合 計	61				
(他3) 縫製品PR事業	縫製品PR事業	賃 借 料	15	出展料	
		消耗品費	10	事務用品	
		合 計	25		
合 計			17,334		

特別会計説明

1 播州織ブランド新商品試作開発事業

(県：地場産業ブランド力強化促進事業 国内展開事業)

収入の部 (単位：千円)

科 目	金 額	備 考
繰入金収入	826	県補助金 500 自己資金 326
合 計	826	

支出の部 (単位：千円)

経費区分	科 目	金 額	備 考
研究開発事業費	試織費	770	試織費
	サンプル作成費	30	サンプル作成費
	小 計	800	
庁費	会議費	3	委員会賄費
	通信運搬費	4	郵送料
	消耗品費	5	事務用品費
	賃借料	10	会議室借料
	支払手数料	4	振込手数料
	小 計	26	
合 計	826		

2 播州織ブランド普及振興事業

(県：地場産業ブランド力強化促進事業 国内展開事業)

収入の部 (単位：千円)

科 目	金 額	備 考
繰入金収入	3,763	県補助金 2,100 自己資金 1,663
合 計	3,763	

支出の部 (単位：千円)

経費区分	科 目	金 額	備 考
研究開発事業費	製品製作費	500	製品製作費
庁費	会議費	3	委員会賄費
	外注費	50	ホームページ更新料
	通信運搬費	30	郵送料
	消耗品費	10	事務用品
	印刷製本費	66	チラシ等印刷費
	賃借料	100	撮影会場・会議室等借料
	会場整備費	3,000	撮影・映像製作（企画・モデル・音楽・照明等）
	支払手数料	4	振込手数料
	小 計	3,263	
合 計	3,763		

3 人材育成事業

(県：地場産業ブランド力強化促進事業 人材育成事業)

収入の部 (単位：千円)

科 目	金 額	備 考
繰入金収入	572	県補助金 300 自己資金 272
合 計	572	

支出の部 (単位：千円)

経費区分	科 目	金 額	備 考
謝金	謝金	440	研修会・講演会講師料
旅費	旅費	88	講師旅費
庁費	会議費	10	会議賄費
	通信運搬費	3	郵送料
	消耗品費	4	事務用品費
	印刷製本費	15	資料等印刷費
	賃借料	10	講演会場使用料
	支払手数料	2	振込手数料
	小 計	44	
合 計		572	

4 播州織総合素材展事業

(北播磨県民局：地場産業等活性化支援事業)

収入の部 (単位：千円)

科 目	金 額	備 考
繰入金収入	5,155	県補助金 500 自己資金 4,655
合 計	5,155	

支出の部 (単位：千円)

経費区分	科 目	金 額	備 考
庁費	会議費	20	委員会等賄費
	賃借料	780	会議室借料、工場見学用バス借料
	会場整備費	3,000	会場設営費
	資料作成費	200	出展者リスト作成費等
	通信運搬費	100	郵送料、荷物送料他
	広告宣伝費	1,000	ホームページ更新料・新聞広告費等
	消耗品費	50	P R用品、事務用品費
	支払手数料	5	振込手数料
小 計	5,155		
合 計		5,155	

5 SDGs推進事業

(県：地場産業SDGs推進事業)

収入の部

(単位：千円)

科 目	金 額	備 考
繰入金収入	3,344	県補助金 3,000 自己資金 344
合 計	3,344	

支出の部

(単位：千円)

事業区分	経費区分	科 目	金 額	備 考
SDGs 準備	研究開発事業費	製造・改良・加工 ・検査・実験費	1,115	生地試作費 850
				サンプル作成費 15
				小物等作成費 200
				展示に係る備品等 50
	庁費	会議費	3	委員会賄費
		通信運搬費	3	郵送料
賃借料		12	会議室借料	
支払手数料		3	振込手数料	
	小 計	21		
	合 計	1,136		
SDGs 実践	庁費	消耗品費	5	事務用品費
		支払手数料	3	振込手数料
		小 計	8	
	委託費	委託費	2,200	SDGs取組動画制作費
	合 計	2,208		
	総 計	3,344		